

2021年度北海道科学大学建築学科客員教授出題による
建築コンペティション

出題、審査、講評者
紹介

2021.04

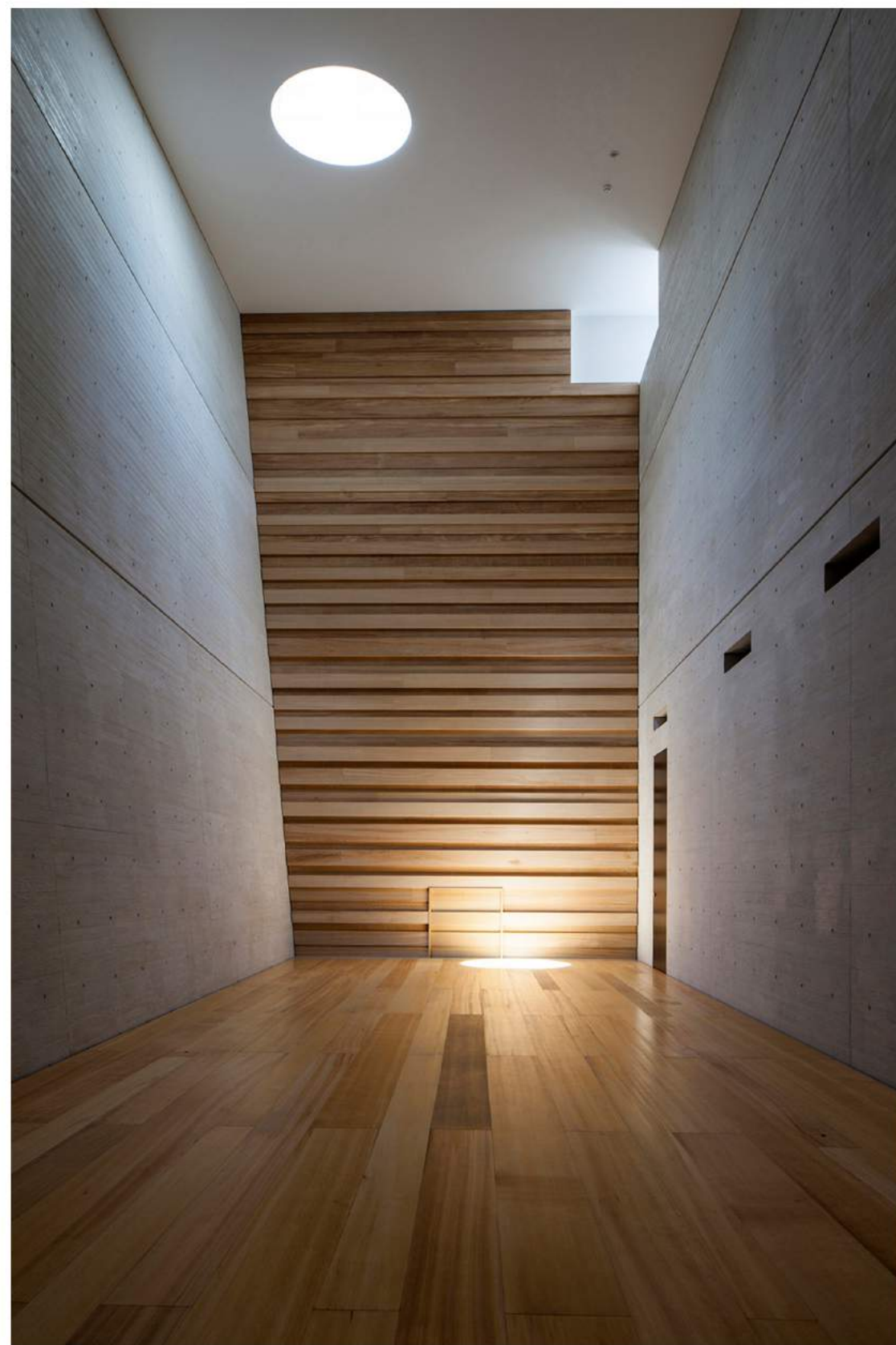
2021年度 出題者



写真：相川健一 Kenichi Aikawa

竹山 聖 Kiyoshi Sey TAKEYAMA

1954年、大阪生まれ。京大卒業後、東大大学院進学。在学中に「設計組織アモルフ」開設、1993年に株式会社に改組。SDレビュー、吉岡賞、アンドレア・パラディオ賞など受賞。1992年より京大教授。1996年ミラノトリエンナーレ日本チームコミッショナー。パリ、ヴァレンシア、香港など海外の大学でも教鞭を執る。「不連続都市」「超領域」「天と地の対位法」といったテーマを通し建築におけるポエジーを求め建築的思考の可能性を追う。著書『独身者の住まい』(廣済堂出版)、『ぼんやり空でも眺めて見ようか』(彰国社)など。クロード・ガニオン監督の映画『KAMATAKI』では美術監督。2014年より日本建築設計学会会長。2019年より北海道科学大学建築学科客員教授。



写真：白鳥美雄 Yoshio Shiratori

北海道科学大学工学部建築学科主催
講演会

空っぽの想像力 Imagining Absence

竹山 聖

京都大学教授・設計組織アモルフ主宰・日本建築設計学会会長・北海道科学大学建築学科客員教授

日時：2019年11月22日（金） 開場16時・開演16時30分

会場：北海道科学大学G棟G303教室

札幌市手稲区前田7条15丁目4-1

交通アクセス：<https://www.hus.ac.jp/access/>

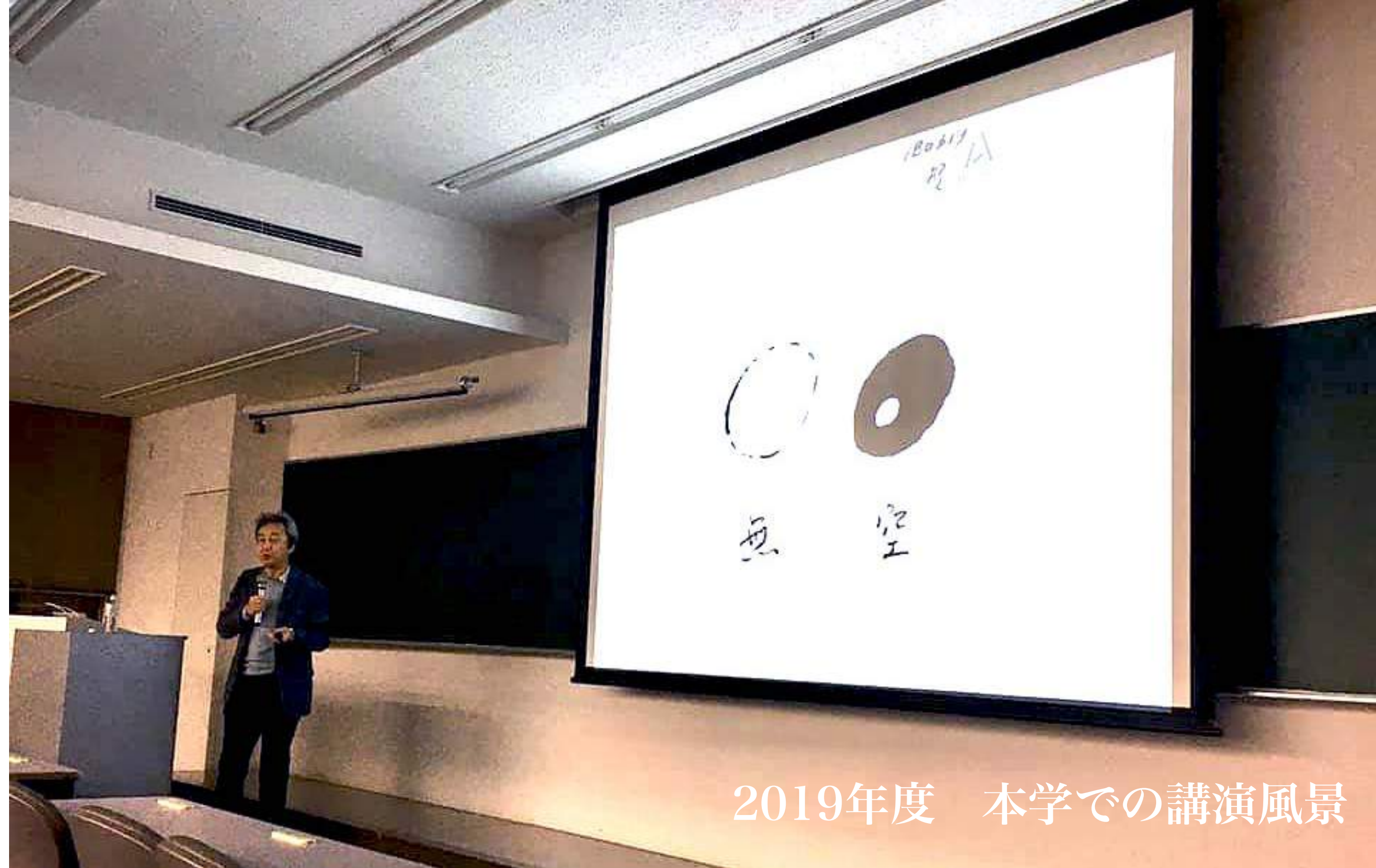
会場所在：<https://goo.gl/maps/tcvqnjBRPLC2>



写真：相川健一 Kenichi Aikawa

竹山 聖 Kiyoshi Sey TAKEYAMA

1954年、大阪生まれ。京大卒業後、東大大学院進学。在学中に「設計組織アモルフ」開設、1993年に株式会社に改組。SDレビュー、吉岡賞、アンドレア・パラディオ賞など受賞。1992年より京大教授。1996年ミラノトリエンナーレ日本チームコミッショナー。パリ、ヴァレンシア、香港など海外の大学でも教鞭を執る。「不連続都市」「超領域」「天と地の対位法」といったテーマを通じ建築におけるポエジーを求め建築的思考の可能性を迫る。著書『独身者の住まい』（廣済堂出版）、『ぼんやり空でも眺めて見ようか』（彰国社）など。クロード・ガニオン監督の映画『KAMATAKI』では美術監督。2014年より日本建築設計学会会長。2019年より北海道科学大学建築学科客員教授。



2019年度 本学での講演風景



2020年度 出題者



鈴木 隆之 SUZUKI Takayuki

1961年生まれ 京都大学建築学科卒 工学博士（東京大学）
京都精華大学教授、SCI-Arc（アメリカ）客員教員、聖ジョセフ大学（マカオ）
訪問教授などを経て、現在武漢大学（中国）教授。英国ダンディ大学とのダブル
ディグリープログラムを担当。

1987年、小説『ポートレート・イン・ナンバー』で群像新人文学賞受賞（現代
企画室刊）。2006年、建築『小説家の家』でSDレビュー入選。

主な著書に『建築批判』（彰国社）、『表現空間論～建築、文学、映画』（論創社）
「未来の地形（講談社、小説）、『パーフェクト・ワールド』（論創社、小説）など。
主な建築作品に『EXCES』『京都精華大学本館』など。



北海道科学大学工学部建築学科主催

講演会

CHINA IMAGINATION

鈴木 隆之

建築家/小説家/武漢大学教授

成長を生み出すのは経済である。しかし変化を作り出すのはイマジネーション以外にない。地球環境のサステナビリティが大きなテーマである現在、成長を追い求めるのは時代錯誤である。だがそれとともに、変化をもあきらめる社会に、果たして魅力はあるだろうか？中国は今も変化を続けている。その想像力はどこからきているのだろうか？中国のみならず、世界の想像力の歴史を紐解きながら、建築の可能性を探り出す。



日時：2020年1月24日（金） 開場16時・開演16時30分
会場：北海道科学大学G棟G303教室

札幌市手稲区前田7条15丁目4-1
交通アクセス：<https://www.hus.ac.jp/access/>
会場所在：<https://goo.gl/maps/tcvqnjBRPLC2>

鈴木 隆之 SUZUKI Takayuki

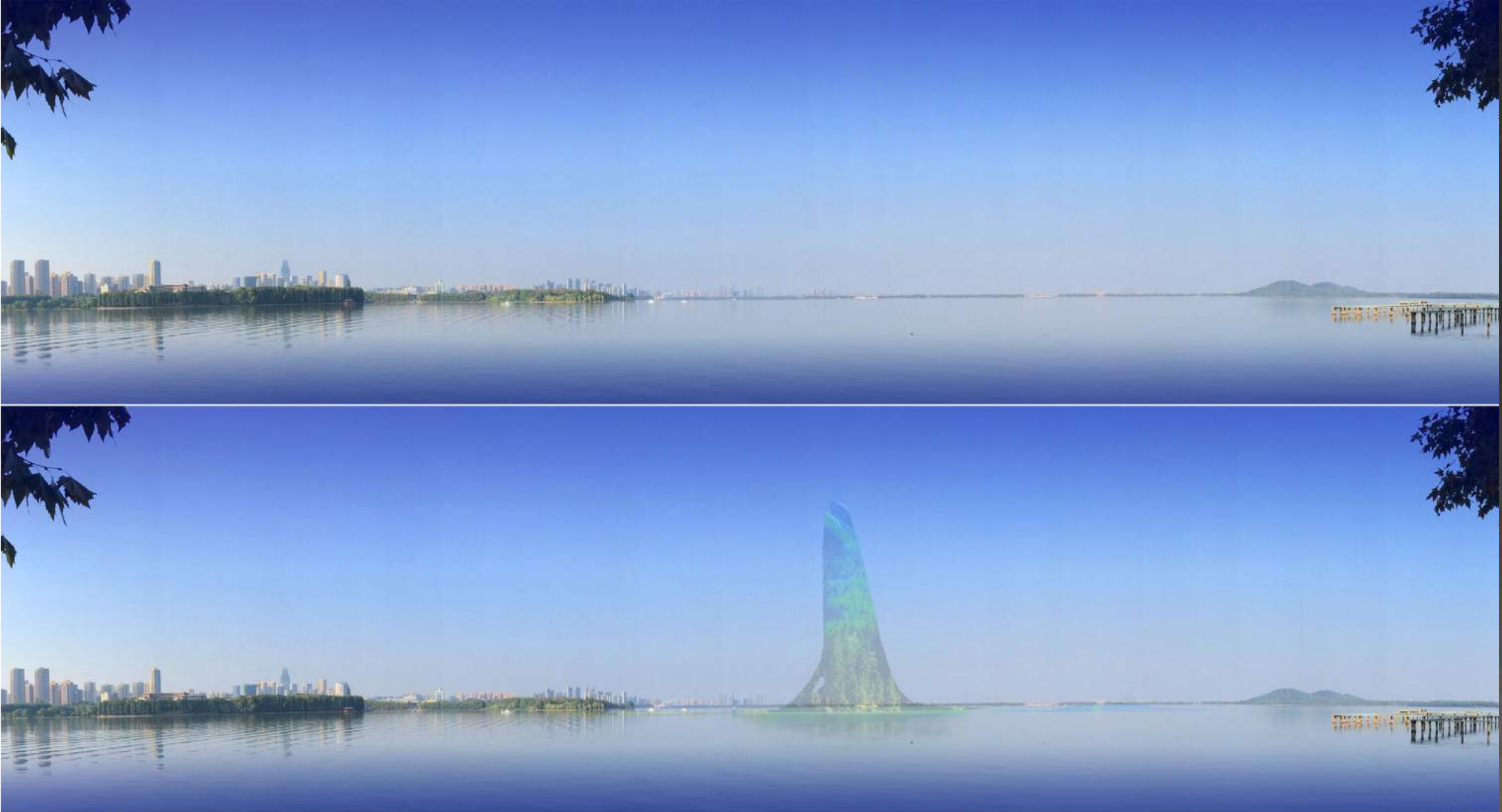
1961年生まれ 京都大学建築学科卒 工学博士（東京大学）
京都精華大学教授、SCI-Arc（アメリカ）客員教員、聖ジョセフ大学（マカオ）
訪問教授などを経て、現在武漢大学（中国）教授。英国ダンディ大学とのダブル
ディグリープログラムを担当。
1987年、小説『ポートレイト・イン・ナンバー』で群像新人文学賞受賞（現代
企画室刊）。2006年、建築『小説家の家』でSDレビュー入選。
主な著書に『建築批判』（彰国社）、『表現空間論～建築、文学、映画』（論創社）
『未来の地形（講談社、小説）、『パーフェクト・ワールド』（論創社、小説）など。
主な建築作品に『EXCES』『京都精華大学本館』など。



2019年度 本学での演習講評風景



2019年度 本学での講演風景



北海道科学大学工学部建築学科主催
 講演会
CHINA IMAGINATION
 鈴木 隆之
 建築家/小説家/武漢大学教授

成長を生み出すのは経済である。しかし変化を作り出すのはイマジネーション以外にない。地球環境のサステナビリティが大きなテーマである現在、成長を追い求めるのは時代錯誤である。だがそれとともに、変化をもあきらめる社会に、果たして魅力はあるだろうか？中国は今も変化を続けている。その想像力はどこからきているのだろうか？中国のみならず、世界の想像力の歴史を紐解きながら、建築の可能性を探り出す。



日時：2020年1月24日（金） 開場16時・開演16時30分
 会場：北海道科学大学G棟G303教室

札幌市手稲区前田7条15丁目4-1
 交通アクセス：<https://www.hus.ac.jp/access/>
 会場所在：<https://goo.gl/maps/tcvqnjBRPLC2>

鈴木 隆之 SUZUKI Takayuki

1961年生まれ 京都大学建築学科卒 工学博士（東京大学）
 京都精華大学教授、SCI-Arc（アメリカ）客員教員、聖ジョセフ大学（マカオ）
 訪問教授などを経て、現在武漢大学（中国）教授。英国ダンディ大学とのダブル
 ディグリープログラムを担当。
 1987年、小説『ポートレイト・イン・ナンバー』で群像新人文賞受賞（現代
 企画室刊）。2006年、建築『小説家の家』でSDレビュー入選。
 主な著書に『建築批判』（彰国社）、『表現空間論～建築、文学、映画』（論創社）
 『未来の地形（講談社、小説）、『パーフェクト・ワールド』（論創社、小説）など。
 主な建築作品に『EXCES』『京都精華大学本館』など。